

議会だより

かみやま

第54号

2022.11.15

9月定例会



● 9月定例会	2 頁
● 行政報告	3 頁
● 令和4年度 補正予算	4 頁
● 令和3年度 一般会計・特別会計認定	6 ~ 7 頁
● 9月定例会一般質問	8 ~ 10 頁

9月定例会は、令和4年9月7日から16日までの10日間の会期で開催した。

令和4年度一般会計補正予算（第3号及び第4号）特別会計補正予算（第2号）、令和3年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定のほか、条例一部改正、財産の取得、教育委員の任命などを含む17件及び議員発議案1件を審議し、可決・認定・同意した。

- 令和4年度神山町一般会計補正予算（第3号）
- 令和4年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和4年度神山町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和4年度神山町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和3年度神山町一般会計歳入歳出決算認定
- 令和3年度神山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 令和3年度神山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 令和3年度神山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 令和3年度神山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 神山町消防団条例の一部改正
- 神山町特別職の職員で非常勤のものの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 神山温泉の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 財産の取得（役場本庁舎 机・椅子等）
- 町有財産の譲渡及び貸与に関する契約（神山町・神山学園）
- 神山町教育委員会委員の任命
- 令和4年度神山町一般会計補正予算（第4号）
- 神山町議会委員会条例の一部改正（議員発議案）

14日

一般質問

森本 孝夫 議員、白土 義信 議員、高橋 義英 議員

町長の所信表明・行政報告

■神山まるごと高専について

皆様方に大変ご心配、ご指導をいただいていた神山まるごと高専について、8月31日に文部科学省の学校法人審議会を設置を認める答申を出した。これを受けて9月5日認可書が送付された。今後は未来を作り上げる若者たちが神山町で学び育ち、町内へ様々な効果をもたらしてくれることが期待される。4月1日開校に向け、町がすべきインフラ整備等々を着実に進めていかなければならないと考えているところであり、町民の皆様には一層のご理解とご協力、ご支援をお願いしたい。

■国内情勢について

国においては、8月10日第2次岸田内閣が発足、8月の月例経済報告等に関する関係閣僚会議で景気は緩やかに持ち直している。先行きについては、新型コロナウイルスへの感染対策に万全を期し、経済活動の正常化が進む中、景気が持ち直してい

くことが期待される。ただし海外景気の下振れが我が国の景気を下げるリスクとなっているので物価上昇による供給面での制約等に十分注意する必要がある。

■新型コロナウイルス感染症について

第7波の影響は大きく、感染者数も8月31日現在全国で1,800万人を超え徳島県でも8万人を超え神山町においても累計で385人の感染者数となっている。今後も新たな変異株の猛威も懸念されることから、60歳未満の4回目のワクチン接種及び高齢者への5回目のワクチン接種について接種体制の準備を進めている。

■地方交付税について

令和4年度の普通地方交付税が24億8,898万6,000円となり、7,658万円増額となった。令和2年度国政調査人口は減少したが需要額の増加があったことと、公債費の過疎対策事業について償還額の増加

による需要額の増加が主な原因である。町の歳入の4割程度を占める地方交付税で自主財源が脆弱な団体にとっては、今後も厳しい状況になることが予想される。限られた財源の効率的な利用に創意工夫に努め取り組む。

■神山町の動き

①近年食文化が欧米化してきたことが原因で高齢の男性に前立腺癌や膀胱癌になる方が増えている。役場庁舎等に男性用サニタリーボックスを設置、人に優しい社会を目指し取り組んでいる。

②城西神山校については令和5年度の体験入学を実施。県内外から42名が参加された。寮アユハウスも入居定数6名のところ16名に参加いただいた。神山町や城西高校神山校に対する関心が高くなっている。今後も神山校と町の連携を密にし魅力化に取り組んでいく。

③集落支援制度について、上分・阿川地区に配置し大変好評を得ている。今後、来年4月から鬼

籠野地区でも配置したい。

■補正予算について

一般会計補正予算1億7,080万7,000円を追加。

【総務費】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、1人1万円の商品券を配布

【民生費】

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業の経費を計上

【農林水産費】

新規就農者に対する助成の経費を計上

【土木費】

町道の改良舗装工事を追加計上

【消防費】

消防団員の報酬の経費を追加計上

【教育費】

神通発電所施設改修工事の経費を追加計上

特別会計の補正予算、国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、特別会計について、それぞれ補正額の追加計上をしている。

補正予算

議案第 48 号 令和 4 年度 一般会計補正予算 (第 3 号)

歳入歳出それぞれ 1億7,080万円増額 予算総額 71億5,393万円

歳入	地方交付税	地方交付税	普通交付税	1億4,042万円
	国庫補助金	総務費補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	5,004万円
歳出	議会費	委託料	神山町議会動画作成業務委託料	22万円
	総務費	一般管理費	商品券配布業務委託料	5,063万円
		企画費	デジタル田園都市国家構想推進交付金事業委託料	2,467万円
			配車集計システム利用料	△280万円
		電子計算費	パソコン機器等購入費	204万円
		移住交流支援対策費	移住者支援空家改修補助金	500万円
	衛生費	予防費	予防接種等委託料	965万円
			新型コロナウイルスワクチン接種体制確保業務委託料	224万円
	農林水産業費	農業振興費	農業次世代人材投資資金交付金	422万円
			農地集積加速化事業補助金	149万円
	土木費	道路橋りょう維持費	町道維持工事	400万円
		道路新設改良費	道路改良舗装工事	1,692万円
		木造住宅等耐震事業費	放置空家除却支援事業補助金	40万円

議案第 64 号 令和 4 年度 一般会計補正予算 (第 4 号)

歳入歳出それぞれ 3,612万円増額 予算総額 71億9,006万円

歳出	総務費	高専誘致事業費	敷地造成工事設計業務委託料	1,634万円
	民生費	児童福祉総務費	人材派遣委託料	142万円

人事案件

○神山町教育委員会委員の任命

阿部健治氏 (神山町上分字川又) 任期：令和4年10月4日～令和8年10月3日

神山温泉の設置及び管理に関する条例の一部改正について

1 神山温泉保養センターの利用料金 (1人につき)の上限

区 分	利用料金(旧)
大人(中学生以上)	680円(620円)
子供(3歳以上小学生以下)	340円(310円)

2 神山温泉保養センターの各室ごとの 利用料金の上限

部屋別\区分	3時間まで	超1時間につき
21畳	4,400円	1,100円
27畳	5,500円	1,320円
48畳	8,800円	1,870円
63畳	12,100円	2,420円
112畳	23,100円	4,620円

<反対討論>

● 志甫議員

温泉の経営にあたり、一番に2019年末より続いている新型コロナウイルスの影響で、燃料代や物価などの上昇の影響、又自粛している方の、人流の影響などで、売り上げが下がっていると思う。又、少子高齢化が進み、人口減少も大きな要因とも思われる。その中で、今の神山温泉の売り上げは、言わば常連客や神山町民に支えられていると思っている。施設の利用料金が上がる事によって、さらに町民の利用も減るおそれがあると考えられ値上げは逆効果になるのではないか。常連客や神山町民の利用が減れば今以上に売り上げが下がり経営のひっ迫の事態になると思う。その為にも条例改正により値上げすることに反対する。

<賛成討論>

● 平岡議員

神山温泉は地域住民の健康増進と観光交流、及び町の活性化を推進するため設立された。新型コロナウイルス感染症、ロシア軍によるウクライナ侵攻で原材料、食料、燃料価格の高騰、円安による輸入品の価格高騰で特に観光、飲食業等は大打撃となった。決算状況は3年連続の赤字、温泉利用料金の町への入金は0円、神山温泉基金についても令和4年度末0円となる見込み。本年度町一般財源より2,770万円強が運営にあてられる状況。一般財源は町民全体が均等に負担する財源であり、最大値でも町民の約半数の人しか利用していない温泉に公金を投入する事は受益者負担の原則にてらせば料金を値上げして立て直しを計る事はやむをえない改正である。営業面での経営努力、業務の効率化等をより一層進める事をお願いして賛成の意見とする。

● 起立採決(○：賛成 ×：反対 ー：議長のため採決には参加せず)

森 一博	白土 義信	平岡 晴喜	高橋 義英	志甫 守	森本 孝夫	河野 雅俊	新居 榮二
○	○	○	○	×	○	ー	○

賛成：6
反対：1 **【賛成多数可決】**

この条例は、令和4年10月1日から施行する。

令和3年度

決算

一般会計と特別会計合わせ

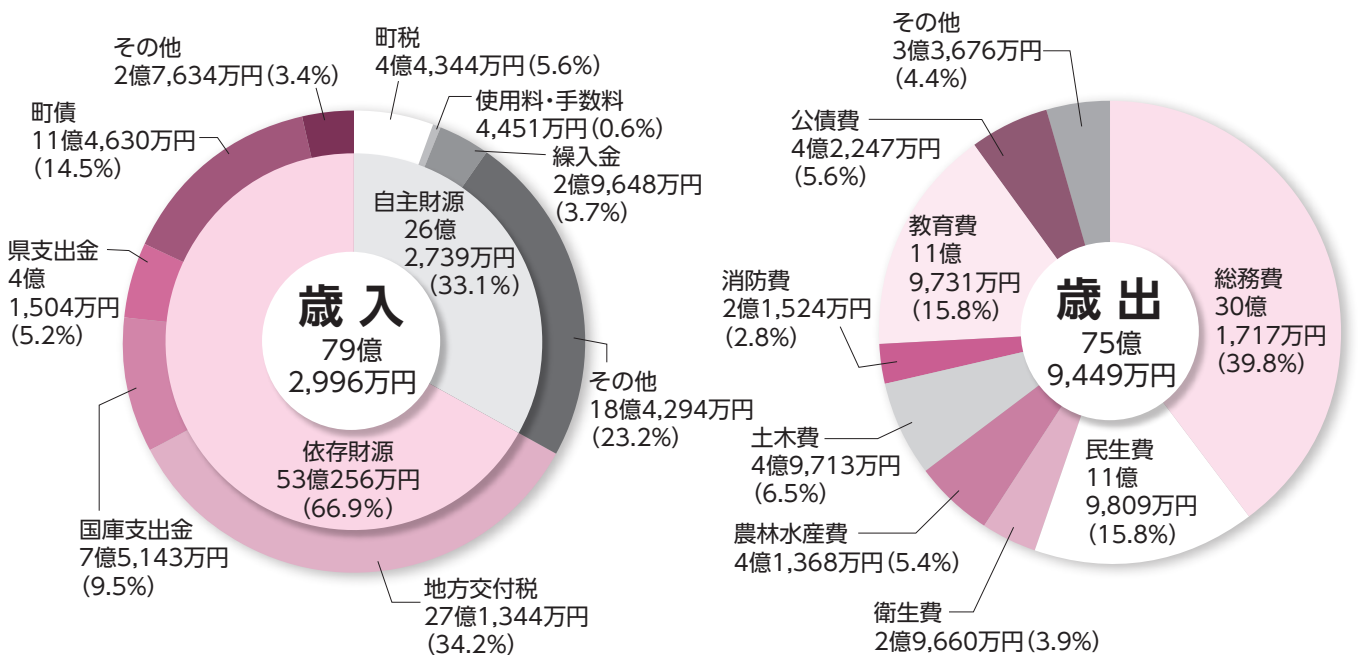
100億5,329万円を認定!!

●令和3年度決算状況

(単位：万円：%)

会計区分	一般会計	特別会計				計	
		国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療		
歳入	令和3年度	79億2,996	7億1,138	2億5,040	10億4,413	1億1,740	100億5,329
	令和2年度	65億9,456	8億3,704	1億7,296	10億6,484	1億3,165	88億107
	増減額	13億3,540	△1億2,566	7,744	△2,071	△1,425	12億5,222
	増減率 (%)	20.3	△ 15.0	44.8	△ 1.9	△ 10.8	14.2
歳出	令和3年度	75億9,449	6億9,973	2億4,404	9億8,851	1億1,622	96億4,301
	令和2年度	62億1,430	8億3,107	1億6,564	10億4,285	1億3,132	83億8,519
	増減額	13億8,019	△1億3,134	7,840	△5,434	△1,510	12億5,782
	増減率 (%)	22.2	△ 15.8	47.3	△ 5.2	△ 11.5	15.0

●一般会計決算の内訳



※令和3年度普通会計地方財政状況調査に基づくもので、決算額と一致しない。

税の公平化と収納に努力を～町税等 滞納総額 1,791万円

●令和3年度の財政状況

(単位：%)

名 称	指 数		解 説
	令和3年度	令和2年度	
財 政 力 指 数	0.21	0.2	財政力を判断する指標、1を超えるほど財源に余裕がある。
経 常 収 支 比 率	73.3	76.0	財政構造の弾力性を判断する指数、70～80%が適正水準である
実 質 公 債 費 比 率	2.7	2.5	全ての事業の公債費率で、18%以上は起債(借入金)に知事の許可が必要。

●令和3年度町税等未収金の状況

(単位：円：%)

区 分	未 収 金		前年との比較	
	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率 (%)
町 税	10,008,736	9,990,411	18,325	0.18
町営住宅使用料	2,450,800	1,469,000	981,800	66.83
国民健康保険税	4,959,884	5,302,779	△ 342,895	△ 6.47
簡易水道使用料	209,170	276,280	△ 67,110	△ 24.29
介護保険料	270,100	232,500	37,600	16.17
後期高齢者医療保険料	19,500	26,900	△ 7,400	△ 27.51
計	17,918,190	17,297,870	620,320	3.59

借入金や基金はいくらになっているのか

地方債現在高(3月31日現在) 49億5,367万円

●基金残高(令和4年5月31日現在) (単位：万円)

一 般 会 計	財政調整基金	30億7,116
	減債基金	9億3,425
	その他の基金	64億3,709
国民健康保険特別会計	財政調整基金	9,439
	その他の基金	500
簡易水道事業特別会計	簡易水道事業基金	3,128
介護保険特別会計	介護給付費準備基金	1億4,915
	その他の基金	0

一般質問



森本孝夫 議員

●質問1● 新型コロナウイルス感染症 流行第7波について

町民の命とくらしを守るため、新型コロナウイルス感染症オミクロン株BA2系統から、さらに感染力の強いBA5系統変異株に置き換わり、日本は6月中旬以降の感染者が世界第一位となった。徳島県でもお盆以降、感染者が急増し一日あたりの新規感染者が何度も過去最多を更新した。神山町では、8月25日に小学校、中学校で2学期始業式があり、授業等が始まった。そこで小中学校、保育所では感染拡大を抑えるためマニュアルを順守していると思うが、感染症に対する対策と取り組みについて伺います。

答弁 教育長

第7波の感染症対策について基本的な感染症対策と、集団感染のリスクへの対応の二本柱で行っている。基本的な感染症対策について、感染源を絶つこと、感染経路を絶つこと、抵抗力を高めることに重点を置いている。集団感染のリスクが高まる密閉、密集、密接が重なる場の回避や、教室での授業や集会、学校行事等の実施方法を工夫している。

答弁 健康福祉課長

保育所に陽性者判明の連絡があった場合は、濃厚接触者の特定を早急に行い、早めの迎えを連絡し感染拡大を防ぐため、消毒の徹底及び異年齢児が接触しないように対応している。

再問

オミクロン株による蔓延状況の緩和に努める必要があると思う。学校保育園での、スクリーニング検査が必要と考えているかお尋ねする。

答弁 教育長

教職員については、希望があった場合にはしている。児童生徒はしていない。

答弁 健康福祉課長

園児についてはしていない。保育士につき申し出があればするよう

うにしている。

●質問2● 新型コロナウイルス困窮者 への対策について

長引くコロナ禍の中、生活に困窮している方も出ているのではないかと心配をしている。長引くコロナは本当に大災害と言える。日常生活で購入や利用している食料品、ガソリン、電気等、全てが値上がりし激しく家計を圧迫している。住民を守り、町民を支援するために、住民非課税世帯、ひとり親世帯等に対して、地方創生臨時交付金を活用してはと思うが、町の考えをお伺いする。

答弁 健康福祉課長

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情があると認められた世帯に対して一世帯当たり、一律10万円の給付金を給付する。市町村へ支給申請が必要である。

●質問3● 県道上の支障木について

町内の県道は行者野から上へは南岸と北岸に分かれていて、南岸については、車の通行には支障がないと思うが、北岸については、

県道上に支障木が点在しているのが現状である。特に本名から二ノ宮に向かつては、観光バスが入ってくれない、通行できない状態になっている。これすべて支障木の障害である。町民が生活に必要な県道に、又、車が安全に通行できるように県道に支障木の撤去、整備が必要であると思う。この件について、町の答弁を求めます。

答弁 建設課長

大型車両の通行に支障のある箇所が確認され、今後、樹木の所有者を特定し関係者と協議を行い、撤去が進められ、町民が安全に通行できるよう、できる限り県に対して要望してまいりたいと考えている。



県道 本名～二ノ宮間

一般質問



白土義信 議員

●質問1● 災害廃棄物集積場の確保に ついて

今年も、日本各地で大雨による災害が発生した。経験したことのない、「記録的な大雨」ということで、土砂災害、床上浸水等が発生し、復旧作業の様子が映し出されていた。放り出された災害廃棄物が、復旧の妨げになるといふことも言われている。

神山町では、徳島産業資源循環協会と、協定を結び災害発生時に廃棄物処理を迅速かつ円滑に行う体制が整ったが、衛生面、交通障害等を考え各地区に、災害廃棄物の一時的な集積場の確保も必要かと思われるが町の考えをお聞かせ願いたい。

答弁 住民課長

近年異常気象に伴う想定外の重大な被害を及ぼした災害が、数多く発生している。被災地復

旧復興の第1歩は災害廃棄物処理と言っても過言ではない。災害廃棄物の発生量は、災害の種類、規模により大きく異なるが、大規模災害等により、大量の災害廃棄物が発生した場合には、廃棄物の一時仮置き場を開設し、町が収集した災害廃棄物を集積し、また住民の方々が災害廃棄物を持ち込みできるように、まず搬入路の確保を最優先に進める必要がある。

仮置き場の場所や数については、災害の規模や発生箇所にもよるところであるが、候補地としては、町が所有する施設、または公有地で平置きスペースが確保でき、搬入する道路の状況を見極めて決定する必要がある。

今年の3月に、徳島県災害廃棄物処理計画において、激甚化頻発化する大災害に対応すべく改定がなされておりそれに準拠して、市町村の定める災害、廃棄物処理計画についても、最新の知見や事例を反映し実効性のある計画へと見直す必要がある。町内の至るところに廃棄物があるなど、後々の復旧復興の妨げとならないよう、今後の計画の見直しを軸とした備えも進めてまいりたいと考えている。

●質問2● 災害時、避難所でのトイレ 対策について

甚大な災害が発生し、避難所で聞いた今一番必要なものは、簡易トイレだそうである。災害時、水洗トイレは使えないのでトイレに行く回数を減らすため、水分や食事を控えることにより、健康悪化を招き、災害関連死につながることもあるそうだ。災害時でも、普段通りのように、トイレだけでも使えたらということ、簡易トイレの中でも、快適トイレというものがあって、そういうトイレの備蓄も必要でないかと思うのだが、どうか伺いたい。また、メーカーと災害時に設置してもらえようようなシステムを築けたらと思うのだが、その考えをお聞かせ願いたい。

答弁 総務課長

分、予備として、神山町役場に9組と処理剤は2,800回分を配備している。

徳島県災害時快適トイレ計画では、備蓄目標数値を避難者数の1日のトイレの利用回数5回掛ける5日分としており、神山町での想定避難者数については、320人となっている。この人数が5日間のトイレを利用できることが備蓄目標となっているため、8,000回分の処理剤を確保する必要がある。処理剤については、1万回分を準備している。目標数には達成しているが、想定を超える避難者の発生、避難、生活の長期化など、現状の備蓄状況での対応が困難となる場合も考えられる。そのため、レンタル等による仮設トイレの設置、道の駅に整備されたマンホールトイレの活用も行い、今後備蓄品の増加購入について、快適なトイレのあり方や高齢者に配慮した、自動ラップ式トイレなどの購入について、補助事業等を活用しながら検討を進めてまいりたいと思う。

現在、神山町には簡易トイレが51組、少量の水で汚物を処理できる処理剤を一万回分購入している。配備状況については、上分公民館、下分公民館、社会福祉協議会、鬼籠野公民館、阿川公民館、広野支所の6つの施設に簡易トイレを7組と処理剤1,200回

また、トイレ環境を快適に保つこと、安心して使用できることも考えながら、避難所運営でのトイレの在り方についても、さらに検討を進めてまいりたいと思う。

一般質問



高橋義英 議員

●質問1●
新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金
について

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金について伺
う。現在まで取り組んできた事
業内容について具体的な説明を願
う。

●答弁●
総務課長

令和2年度は1億6,450万1千
円の補助金を受け、20事業を実施
している。町内事業者の給付、バ
ス利用者への支援、1000円バス
の実施、町民一人1万円の現金給
付、高齢者、子供に対するインフ
ルエンザ予防接種助成、スタチの
送料無料助成など。

令和3年度は2億2,874万8千

円の補助金を受け、19事業を実施
している。神山温泉のコロナ対応
の改修工事、町民への一人5千円
分の商品券の配布、保育所、学校
等への衛生用品購入費用、高齢者
へのタクシー助成などとなっている。

●再問●

本年4月、新型コロナウイルス
感染症対応地方創生臨時交付金を
拡充し、コロナ禍における原油価
格物価高騰対応分が創設された。
様々な支援が、示されて活用さ
れてきたが、影響を受けながら対
象とならなかった世帯や恩恵を受
けられなかった方たちが一定数お
られる。今後、町がどのように検
討されて決定していくのかスケ
ジュールも併せて伺う。また、交
付金以外の支援策も検討している
のか。

●答弁●
総務課長

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金として、5、
004万1千円が国から配分され
ており、今回、町民一人あたり町
内で使用できる1万円の商品券の
配布、神山温泉の入浴券の配布、
役場職員のテレワークのシステム

導入としている。

商品券、入浴券を、できるだけ
早く送付し、令和5年1月末及び
2月末を期限とし、利用できるよ
う進める予定。

●再問●

前回の交付金で、温泉チケット、
又商品券の使用率を伺う。

●答弁●
総務課長

温泉チケットは2,431世帯が
対象で使用率は51%。
生活応援商品券は対象者数5,
130人で使用率96.2%となっ
ている。

●質問2●

「マイ タイムライン」の
早期普及について

災害時に自ら取るべき行動を時
系列でまとめた「マイ タイムラ
イン」の早期普及が必要と考える。
防災訓練、防災学習等で、作成を
推進していくのか。ハザードマッ
プの中に、マイ タイムラインの
記入欄があると有効活用できると
考えるが。

●答弁●
総務課長

ここ数年、新型コロナウイルス
感染症の蔓延により、十分に、防

災訓練、研修会等ができていない、
今後検討してまいりたい、その際、
県の砂防気候防災課職員の出前講
座の協力も頂ける。

ハザードマップの記入欄につい
ては、更新の際に検討する。

●質問3●

部活動改革について

文科省は、学校の働き方改革を
踏まえた部活動改革において、令
和5年以降段階的に休日の運動部
活動から段階的に地域移行するよ
うに提言している。本町における
現時点での方向性と課題について
お伺いする。

●答弁●
教育長

木曜日と、土日どちらかを休み
とし、練習時間平日は2時間、土
日は3時間程度と短くし教員の負
担は少なくなり、大きな課題はな
いと思っている。地域移行につい
ては、8月29日に第一回徳島県運
動部活動の地域移行推進協議会が
開催され、検討が始まったばかり
で、今後、教員、生徒や保護者の
意見を聞きながら、他市町村の取
り組みや県教育委員会の指導を受
け、進めたい。

神山町議会 YouTube 配信

神山町議会では
12月の定例会一般質問を試験的に
YouTube で録画配信を行います

神山町議会では、12月定例会の一般質問を試験的に YouTube にて録画配信を行います。長引くコロナ禍で外出を控える方が増えるなか、議会の傍聴に来られる方も少なくなっているのが現状です。また、仕事、子育て、交通手段がない、等で傍聴に行きたくても来られない方たちに、いつでも見て頂いて、皆様方が選ばれた議員がどのような質問を行っているのか、ご視聴いただき、ご意見を、議員・議会事務局にお寄せください。ご好評頂ければ、今後の定例会を YouTube 配信していく考えです。

YouTube で **神山町議会** を検索しご視聴ください。

神山町議会事務局
TEL 676-1511(IP 2002)
gikai@kamiyama.i-tokushima.jp



令和4年度

神山中学校体育館建設工事予定地

令和4年
10月現在



国土交通省等への要望活動

要望事項

- 一 神山町内の道路整備の一層の促進のため、令和5年度予算編成に当たっては、格段の配慮をすること。
- 二 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
- 三 生産性を高め経済社会を支えるとともに、地域活性化を図るため、資材価格が高騰する中でも必要な道路整備・管理が安定的に進められるよう、補正予算を速やかに編成し、成立させること。
- 四 災害時にも地域住民が安全・安心に通行できる「命の道」の整備が進められるよう、道路整備予算の総額を確保すること。
- 五 道路整備予算の配分に当たっては、整備の遅れている地方や、財政力の弱い自治体への重点配分について配慮すること。

令和四年十月十七日

徳島県神山町議会議長

河野 雅俊

徳島県神山町長

後藤 正和

国土交通省への要望について

議長 河野 雅俊

10月17日全議員、後藤町長と共に、徳島県東京事務所と徳島県選出の自由民主党国会議員事務所の方々にご案内をいただき、国土交通省技監に5項目の要望事項を記した要望書を渡し要望した。衆議院会館参議院会館の県選出国会議員事務所を訪れ要望への支援をお願いした。勉強会においては、内閣府地方創生推進事務局参事官補佐 石田一眞氏より「人口減少下におけるデジタルの活用」デジタル田園都市国家構想交付金を中心に続いて内閣府地方創生推進室参事官補佐小野康佑氏より「デジタル田園都市国家構想交付金」(デジタル実装タイプ)についての説明を受けた。後藤田衆議院議員の出席されていた予算委員会も傍聴させていただき、有意義な時間を過ごせた。

10月18日国立研究開発法人海洋研究開発機構横須賀本部を視察。中長期目標期間における法人としての取組として *地球環境の状況把握と変動予測のための研究開発 *海洋資源の持続的有効利用に資する研究開発 *海域で発生する地震及び火山活動に関する研究開発 *数理科学的的手法による海洋地球情報の高高度化及び最適化に係る研究開発 *挑戦的・独創的な研究開発と先端的基盤技術の開発の説明を受けた。なかでも南海トラフ地震への対応事業で南海トラフゆっくり滑り断層監視のため、海底深部に設置する地殻変動観測装置の開発については、R3年度に機器開発を実施した上で、R4年度～R5年度に地球深部探査船(ちきゅう)によって掘削孔を生成し、孔内に観測装置を設置(紀伊水道沖)することであった。近い将来正確に近い観測予測を実現して欲しい。

今回の議員要望活動・視察が、今後の議員活動に活かしていければと考える。

国土交通省への要望活動について

副議長 森本 孝夫

10月17日議員8名と後藤町長と共に国土交通省吉岡幹夫技監へ要望陳情を行い、徳島県選出国会議員、後藤田正純衆議院議員をはじめ、山口俊一衆議院議員、中西祐介参議院議員、三木亨参議院議員の議員会館の事務所を訪れて要望活動への支援をお願いした。

要望活動として、神山町の道路整備の一層の促進のために、令和5年度の予算編成に当たっては格段の配慮をし、県道神山国府線行者野橋架け替えと、国道193号線倉羅トンネルの早期完成に向け、一日も早い着工をお願い希望することを神山町議会議員全員でしっかりと伝えることができたのではないかと手応えも感じた。

要望活動の外、内閣府石田参事官補佐、小川参事官補佐による勉強会「人口減少下におけるデジタルの活用」、「デジタル田園都市国家構想交付金について」を行っていただき詳しく説明を受け、岸田内閣が勧めるデジタル田園都市国家構想が実現されていく中で、神山町議会としての役割について考えさせられた。

最後に、今回の要望活動について調整を行っていただいた、後藤田事務所及び徳島県の担当者に感謝申し上げ報告を終わることとする。なお、今後も神山町の発展のための要望活動については続けていきたいと思う。



国土交通省 吉岡技監と面会

神山の 風景



今回の神山の風景は、9月18日から19日に接近した台風の豪雨により、増水した鮎喰川を旧下分小学校から撮影しました。19日の昼を過ぎて撮影したので、少し水は減っていますが、三ツ木の谷も鮎喰の本流も川幅いっぱい濁流でした。

直撃は免れましたが、離れていても風も雨も相当強かった。今回かなり長い停電があり、真夜中でもありましたので、不安になられた方も居たのではないかと思われまます。いざという時のためにも、必要なものは揃えておきたいものです。

異常気象が言われており、台風も大型化し、雨も想像しがたい雨量を記録するなど、自然災害に備え危険を感じるような予報が出た場合には、早め早めの避難をして、身の安全を一番に考えましょう。

(白土 義信)

議会の動き

- 11月
 - 4日 中学生議会
 - 8日 戦没者追悼式
 - 9日 第66回町村議会議長会全国大会
 - 10日 令和4年度議長研修
 - 11日 社会福祉大会
 - 18日 議会活性化特別委員会
 - 下旬 議会運営委員会
- 12月
 - 月上旬～中旬 12月定例会
 - 議会広報調査特別委員会
 - 議会活性化特別委員会
- 1月
 - 2日 神山町二十歳を祝う会
 - 8日 神山町消防出初式

表紙写真説明

9月25日に広野小学校で運動会が行われました。

本来であれば、広野地区大運動会で各種団体も参加で行われますが、今年も新型コロナウイルス感染症の観点から、保育所、小学生、中学生で行い、保護者も人数制限され、種目も縮小され昼までに終わりました。

早く、本来の姿になる事を願います。

(高橋 義英)

編集後記

今夏は記録的な猛暑の毎日であらうなざりでしたが、朝夕は秋の気配をそこはかと感じるようになりました。

9月定例会では、令和4年度一般会計補正予算(第3号)1億7,080万円など11議案を可決、決算認定5件を承認、任期満了に伴う教育委員の任命に同意しました。また、追加された令和4年度一般会計補正予算(第4号)3,612万円(敷地造成工事設計業務委託料1,634万円など)を可決して閉会しました。

これから季節が良くなり外出する機会が増えると思います。全国的に新型コロナウイルスの感染も減ってきていますが、気を緩めることなく感染対策を行い過ごしていきましょう。

(志甫 守)